

マイクロプラスチックってなに？



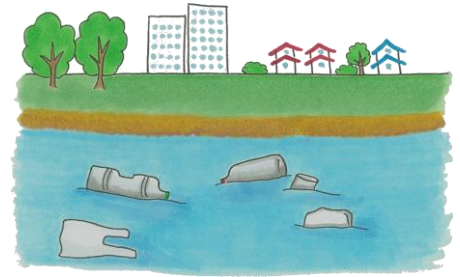
マイクロプラスチックとは、5 mm以下の小さなプラスチックのことです。目に見えない大きさのものもあります。

米粒くらいのカプセルなどもあれば、食品容器などが海や砂浜で波や砂にこすられ、小さく砕けたものもあります。

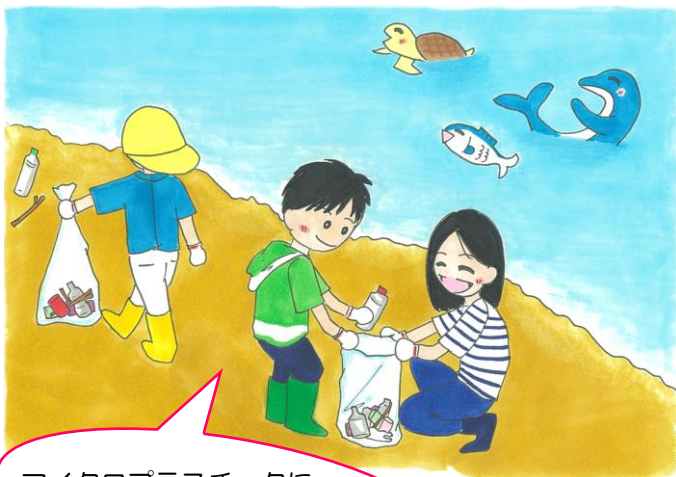
小さいので見つけにくいですが、北極や南極、地球で一番深い海の底でも見つかっています。

何が悪いの？

1. とても小さいので、海水や砂の中から簡単に拾い集めることができません。また、プラスチックはくさらないので、いつまでも自然の中に残ります。
2. 小さな生き物がえさと間違っって食べることがあります。体の中を傷つけたり、満腹と勘違いして栄養不足になります。
3. 有害な物質がくっつきやすい性質をもっています。



全ての生き物は食べたり、食べられたりしてつながっています。小さな生き物は小さな魚のえさになり、小さな魚はもっと大きな魚や鳥に食べられます。



マイクロプラスチックになる前に拾ってしまおう！

マイクロプラスチックによって、小さな生き物がいなくなったり、有害な物質が魚や鳥の中に入ったりしないか、たくさんの生き物へのえいきょうが心配されています。

どうすればいいの？

マイクロプラスチックを防ぐには、どうすればよいのでしょうか？ それは、私たちが、

1. 物を大切に使い、むだなごみを出さない
2. ごみは正しく分別して決められた場所に捨てる
3. 地域のごみ拾いに参加する

を心がけることです。



富山県内のスーパーマーケットなどではレジ袋の削減や資源物の回収などをしていいるからむだなごみを出さなくてすむね

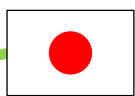


私たちのまわりの公園や道路などに捨てられたごみは、海から離れていても、雨や風で川へ運ばれ、やがて海に流れ出ます。私たちの住む地域は、どこも川や海でつながっていて、海辺には、同じようにして出たごみがたくさん流れ着くことになります。

海辺でみんながごみ拾いをして、離れた場所でごみのポイ捨てがあると、また流れてきて、どんどんたまってしまいます。マイクロプラスチックもどんどんできてしまいます。

他の国の取組み

世界では、ごみをへらすことだけではなく、プラスチックをへらす取組みが進められています。レジ袋などをやめる国や、使い捨てプラスチックを全てやめる会社などもあります。私たちの日本海の周りでも、



日本

川や海のごみをへらすことやマイバッグを使う取組み



韓国

漁師や地元の会社、市民団体が協力したごみ集め



中国

農村などで地域全体での生活ごみをへらすこと



ロシア

電子地図をつかった不法投棄防止や資源回収の取組み



モンゴル

国境を越えて海とつながる川でのごみをへらす取組み

など、みんながそれぞれがんばっています。



〒930-8501 富山県富山市新総曲輪 1 - 7

富山県総合政策局国際課 (TEL : 076-444-3156、FAX : 076-432-5648)

〒930-0005 富山県富山市新桜町 5 - 3 第2 富山電気ビルディング 8階

富山県生活環境文化部環境政策課 (TEL : 076-444-3141、FAX : 076-444-3480)